

合同シンポジウム コーパスに見る 日本語のバリエーション —モダリティ研究の可能性—

2018年9月7日(金) 10:00-17:00

国立国語研究所 講堂

10:00-10:10 開会の挨拶

10:10-10:50 韻律とモダリティ

前川喜久雄(国立国語研究所 コーパス開発センター教授)

10:50-11:30 通時コーパスに見るモダリティ形式の変遷

小木曾智信(国立国語研究所 言語変化研究領域 教授)

11:30-12:10 学習者コーパスに見る日本語学習者のモダリティの発達

迫田久美子(国立国語研究所 客員教授)

佐々木藍子・須賀和香子・細井陽子(プロジェクト非常勤研究員)

13:10-14:10 デモンストレーション

14:10-14:50 日常会話コーパスに見るモダリティの多様性

小磯花絵(国立国語研究所 音声言語研究領域 准教授)

14:50-15:30 モダリティアノテーションとその統計分析

浅原正幸(国立国語研究所 コーパス開発センター准教授)

15:30-16:10 方言コーパスに見るモダリティ形式のバリエーション

木部暢子(国立国語研究所 言語変異研究領域 教授)

16:25-16:55 ディスカッション&まとめ

16:55-17:00 閉会の挨拶



詳細はこちらから↑

共催

科研費基盤(A)「日本語諸方言コーパスの構築とコーパスを使った方言研究の開拓」

日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成 木部 暢子

科研費基盤(A)「日本語歴史コーパスの多層的拡張による精密化とその活用」

通時コーパスの構築と日本語史研究の新展開 小木曾 智信

科研費基盤(B)「コーパス言語学的手法に基づく会話音声の韻律特徴の体系化」

大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的な研究 小磯 花絵

科研費基盤(A)「海外連携による日本語学習者コーパスの構築および言語習得と教育への応用研究」

日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明(学習者コーパスに基づく第二言語としての日本語の習得研究) 迫田 久美子

科研費基盤(A)「日本語歴史コーパスに対する統語・意味情報アノテーション」

科研費新学術「時間生成学—時を生み出すところの仕組み」計画研究「言語による時間生成」

コーパスアノテーションの拡張・統合・自動化に関する基礎研究 浅原 正幸

事前申込不要

詳細はwebで
ご確認ください。